

CATIA V5のモデルを 安全・簡単・便利に管理する

「SmarTeam Design Express for auto supply chains」のご紹介

© 2006 IBM Corporation

2006年9月1日

日本アイ・ビー・エム株式会社

PLM事業部. 第2ソリューション営業部

後藤 禎

SmarTeam Design Express

設計にPDM:Smarteamをいち早く適用し、設計効率を
向上させるソリューション・コンセプト



SmarTeam Design Express for
auto supply chains

略称:*SDE for AUTO*

**SDE for AUTOは中部自動車業界向け
データ管理に特化したソリューション**

SmarTeam vs. SDE for AUTO

	SmarTeam	SDE for AUTO
--	----------	--------------

目的	PDM	データ管理ツール
適用規模	全社	設計部門様内
事前業務分析 と要件定義	必須	不要
カスタマイズ	前提	なし(カスタマイズ済み)
操作手順 運用方法	お客様毎に 定義	事前に定義 済み

データ管理で解決する課題

このような悩みはございませんか？ -ユーザー様の観点から-

最新のデータは
どれだろう？

リリース管理機能により、
常に**最新のデータ**が参照できます。
また検索結果をビューワにより確認、

同名データが あちこちにあるぞ !!
どれが**真正**だろう？

リリース管理機能により、
常に**正しいデータ**が参照できます。

排他制御機能により、貴重なデータを
誤って上書きする／される心配がありません。
またサーバに登録済みのデータは**復旧も容易**です。
(リリース管理機能による**バックアップ**)

間違えて参照データを上
書き保存してしまった。
元に戻さねば…

データ管理サーバによるデータの**一元管理**
により、データの**分散管理**や**不必要な**
コピーの発生を防ぎます。

取引先から送られてきた
データが共有フォルダに
保管されているぞ…

このような悩みはございませんか？ —管理者様の観点から—

セキュリティ確保のルールを作ったが、きちんと運用されているだろうか？
(**道具で裏打ち**できないものか)

ユーザ管理機能により、データ管理ツールに保管された情報には**許可された方のみアクセス可能**となります。

ユーザ教育および、管理者教育をそれぞれ**数時間で完了**できるよう、工夫を盛り込みました。

ユーザや管理者への**教育時間が十分に割けない**…

手間暇かけずデータ管理の仕組みが構築できないものか？

SDE for AUTOは、代表的な運用シナリオに則り、**予め最適な機能群を盛り込んだ状態**でご提供します。

迅速な立ち上げのために、**導入キット**、**操作マニュアル**、**管理者マニュアル**をツールと併せてご提供します。

導入して**すぐに使える**管理ツールはないものか？

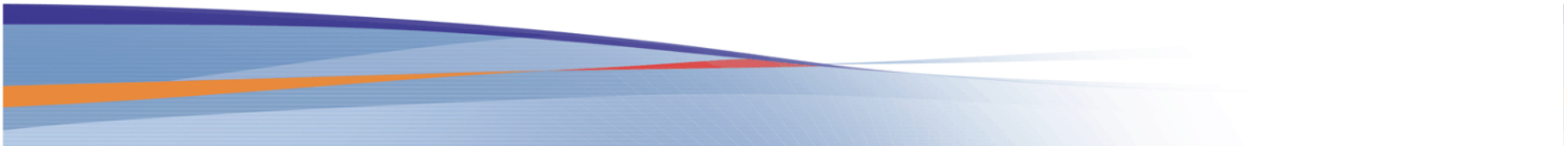
「SDE for AUTO」は 安全・簡単・便利なソリューションです。

- 安全**
- ・ 不用意な削除・上書きからデータを保護します。
 - ・ データベースへの不正なアクセスを未然に防ぎます。

- 簡単**
- ・ V5上のアイコン操作で作業できます。
 - ・ V5同様のツリー表現で部品構成を確認できます。

- 便利**
- ・ 最新データの参照や検索が容易です。
 - ・ V5読込前にビューワで形状確認できます。

SDE for AUTOの特長



SDE for AUTOのご提供内容

お客様

「SDE for AUTO」ソリューション

CATIA ビジネスパートナー

Smarteam

マニュアル
(管理者用、
設計者用)

事前用意
導入キット
(DB+スクリプト)

日本アイ・ビー・エム株式会社

OEM様のリリース
アップ・HF対応サ
ポート

QA/技術サポート

教育・スキトラ



運用シナリオにそった操作・管理マニュアル

サンプルデータ

■ サンプルデータ

LIGHTST用のCD-ROMに含まれる「LIGHTST_SAMPLE\SCENARIO」内のファイルを使用します。BODY、FRONT_SUS、REAR_SUSには以下のようなサンプルパートが保存されています。

ユーザーと権限

利用するユーザーの所属グループと主な権限です

設計リーダー

lead1

一般設計者

mem1 mem2 mem3

■ 主な権限

- 設計リーダー: プロジェクト追加/編集, CADデータ追加/編集, CADデータリリース
- 一般設計者: CADデータ追加/編集

担当設計者と構成

シナリオに登場するユーザーと担当のパートです。

STEP1 シナリオ概要 からシナリオを開始

シナリオイメージ

- 1-1 共有アセンブリ作成

パートを特定の親アセンブリに追加します。後に各設計者が担当アセンブリにパートを追加します。
- 1-2 3D Shape-Edit

SMARTTEAMでのプロジェクを修正します。プロジェクトには親身管理をします。後にCATIAパートを関連付けます。
- 1-3 共有アセンブリ作成

1-1で作成したアセンブリをSMARTTEAMへ登録・アップロードします。
- パート追加
- 1-4 アセンブリ作成

アセンブリ構成を設定します。
- 図面作成
- 1-5 図面内容の作成

図面内容の追加をしない。修正が必要の場合は「工程」使用担当者へ修正の依頼をします。
- 1-6 *リリースデータの作成

ステップシートとリリース管理用ステップシート用管理庫へ登録
- 1-7 *リリースデータの作成

リリースデータされたパートは製造として加工、実装用のパートを作成します。

CATIA V5上のアイコン操作でデータ管理を実現

V5データ管理 (LightST)

- Piston-Pin (Piston-Pin.1)
- Nut (Nut.1)
- Bush (Bush.1)
- Bolt (Bolt.1)
- Conrod-A (Conrod-A.1)
- Conrod-B (Conrod-B.1)
- Bush (Bush.2)
- Bolt (Bolt.2)
- Nut (Nut.2)
- 拘束
- Applications

入り口はCATIAの仕様ツリーとアイコンで操作

CATIA Product

属性 | サク | コメント | リビジョン | データ

Locked

Part Number: **Conrod-ASY**

Revision: 000.000

Definition: *

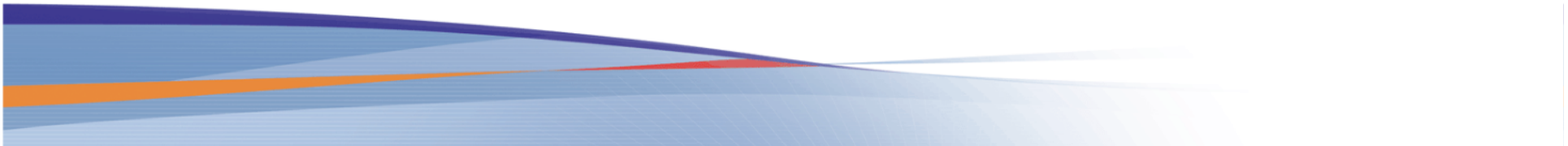
State: New

Comments:

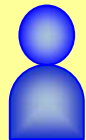
一般 | System Information | Composition

ユーザー ログイン: Member

SDE for AUTOの基本シナリオ

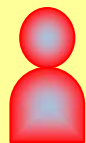


ユーザーの役割と設計部品の構成



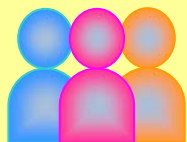
●プロジェクト管理者

ユーザー名: proj1
プロジェクト追加、セキュリティ設定
(作業開始前にプロジェクトを追加。)



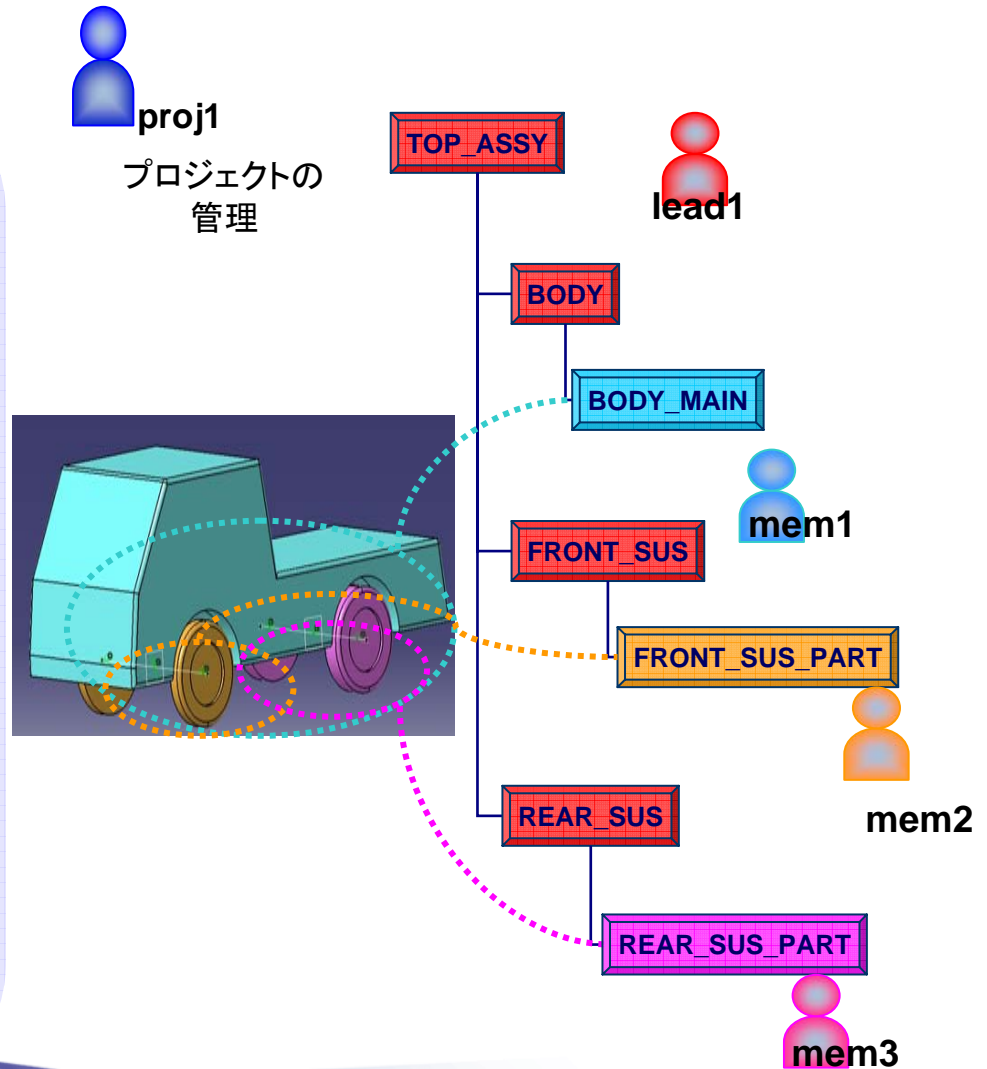
●設計リーダー

ユーザー名: lead1
フォルダ追加、CADデータ追加・編集、リリース



●一般設計者

ユーザー名: mem1, mem2, mem3
CADデータ追加・編集



シナリオの流れ(その1)

設計リーダー作業

一般設計者作業

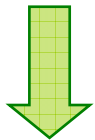
1. 共有アセンブリ作成



2. 共有アセンブリ登録



3. 担当アセンブリ編集



4. アッセンブリ拘束

空のアセンブリを作成
後に各設計者が担当
アッセンブリにパートを追加

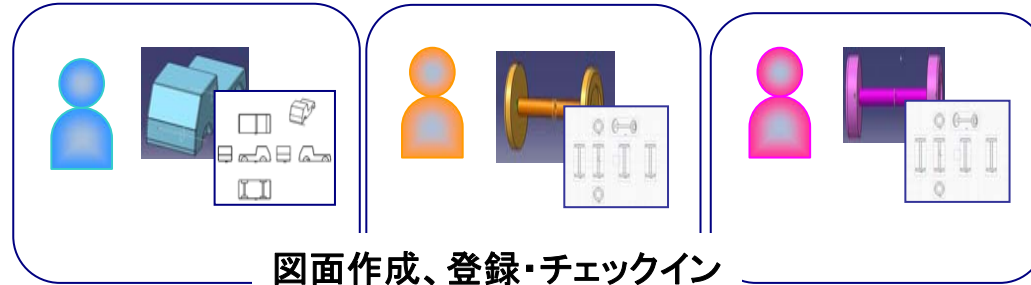
作成したアセンブリを
登録・チェックイン

パート追加、登録・チェックイン

リーダーが組み立てる

シナリオの流れ(その2)

5. 図面作成・登録



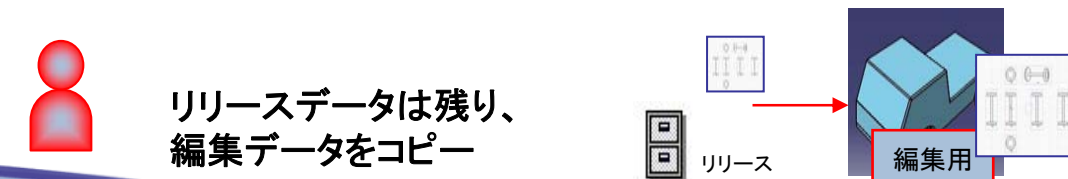
6. 設計内容の確認



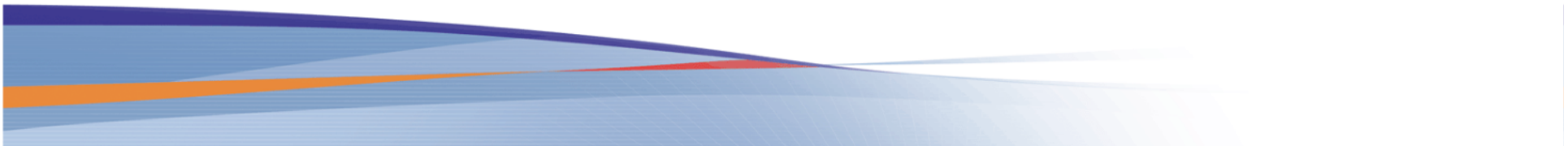
7. スナップショット作成



8. リリースデータの利用



「実践」・・・ SDE for AUTO



Windowsのフォルダー管理の長所・短所

長所

- コピーやフォルダー作成など簡単な操作
- Windowsのわかりやすいオペレーション

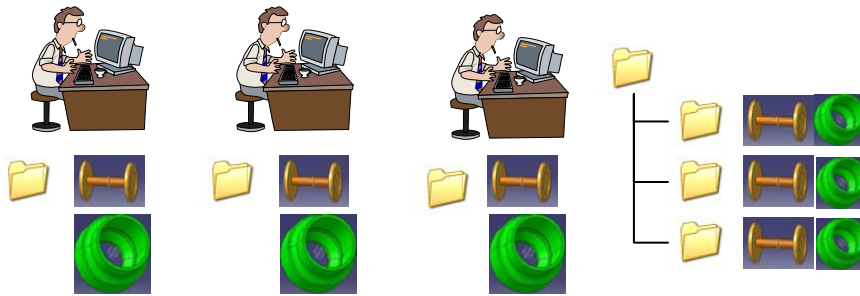
短所

- セキュリティーに不安がある。
- 排他制御ができない。
- 同じモデルが複数でき、どれが最新かわからない。

Windowsフォルダー的な簡便な管理
&
PDMの本格データ管理を実現

共用(標準)部品の適用

Windowsのフォルダ管理



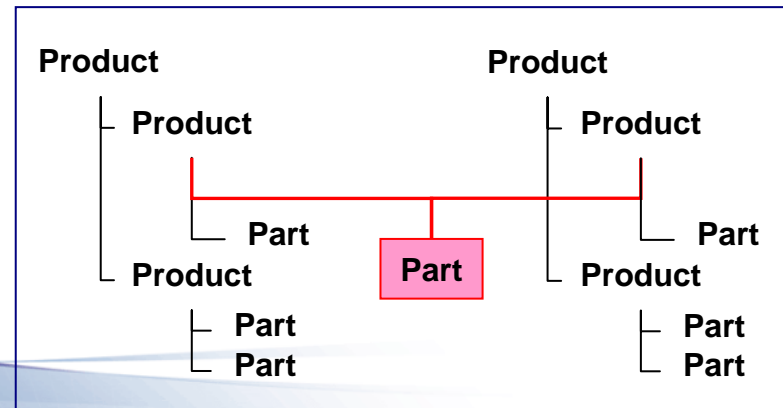
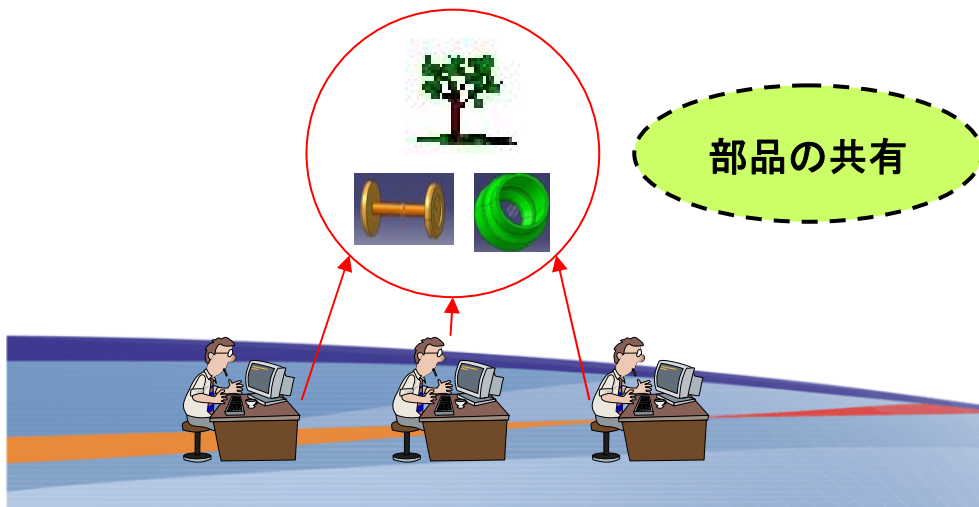
どうしてもコピーしてしまう。

- ディスク容量の無駄遣い
- 同じデータの整合性が保てない

© 2006 IBM Corporation

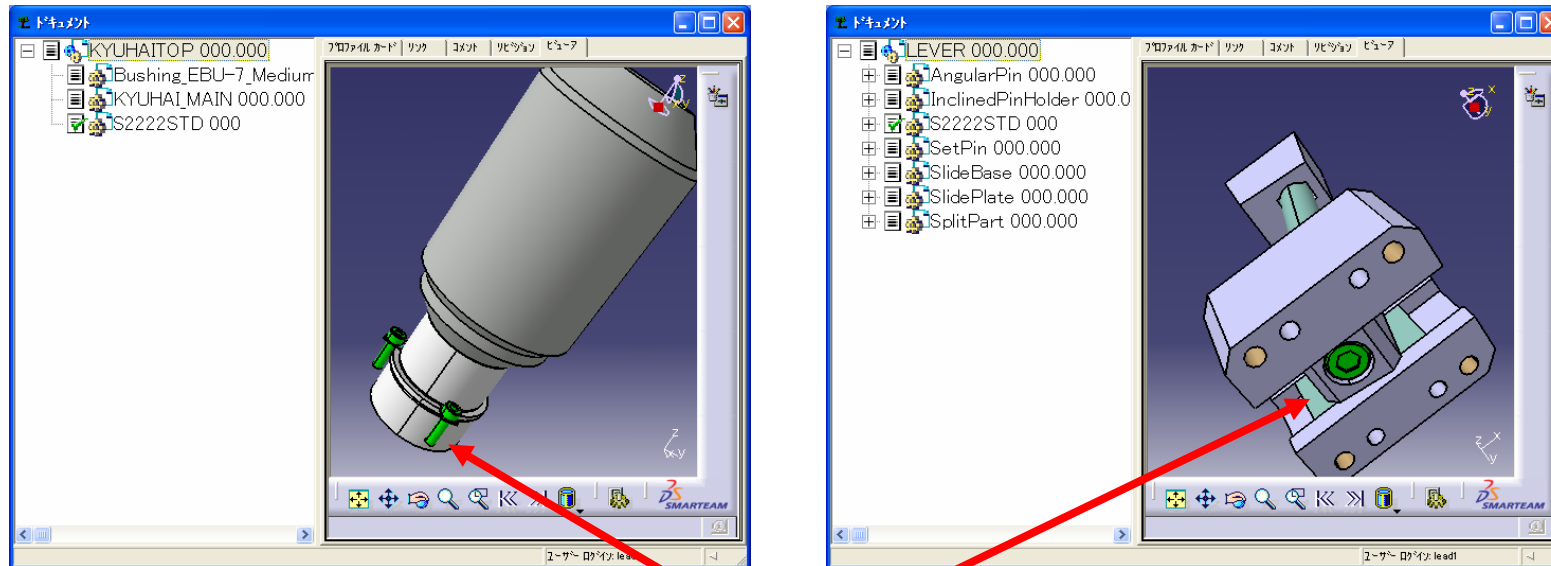
本来の管理

同じファイルを複数持たない。



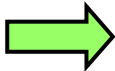
CATIA Product 構成例

実践その1. 標準部品を利用した部品共有のシナリオ



同一部品

標準部品登録



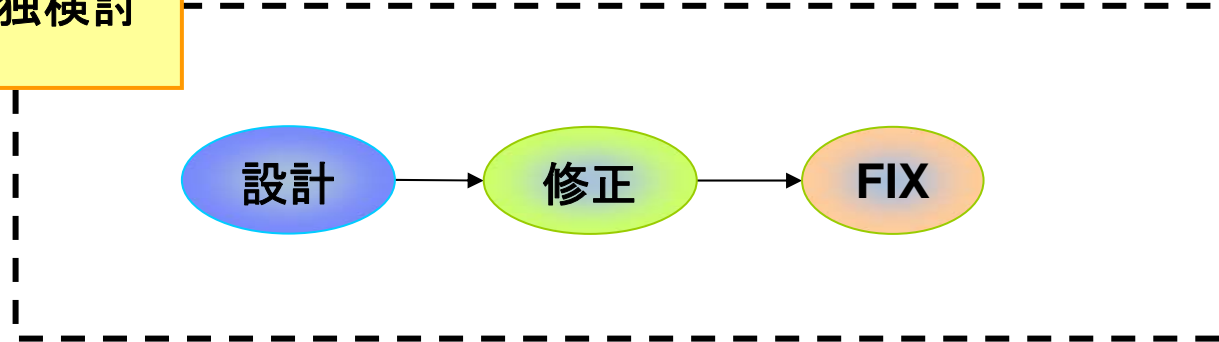
標準部品呼び出し



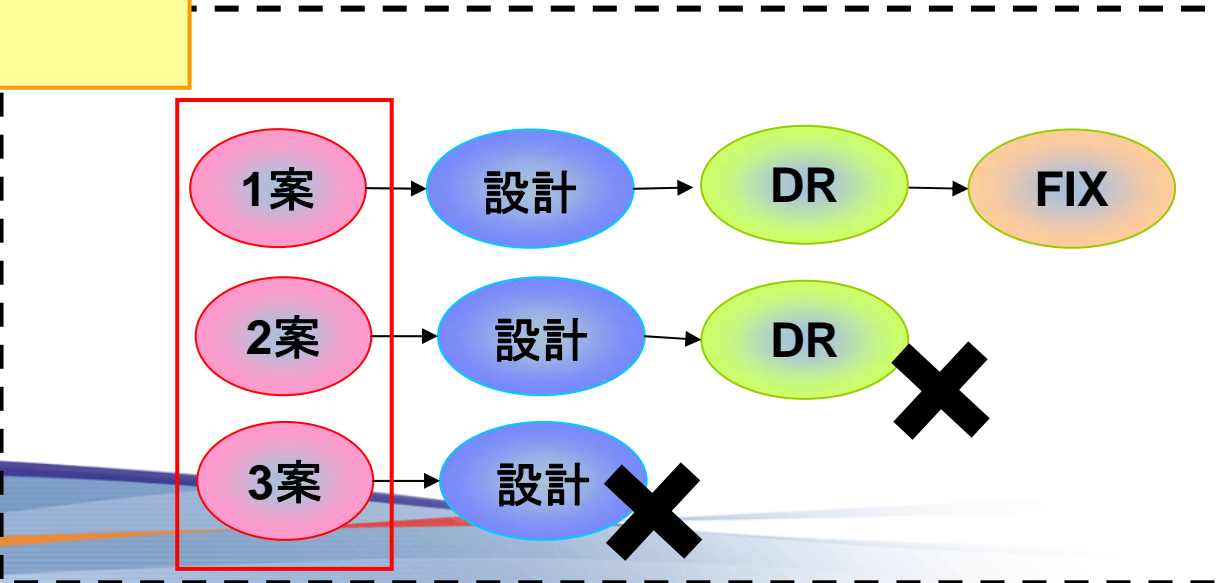
ボトムアップツリー

設計検討プロセス

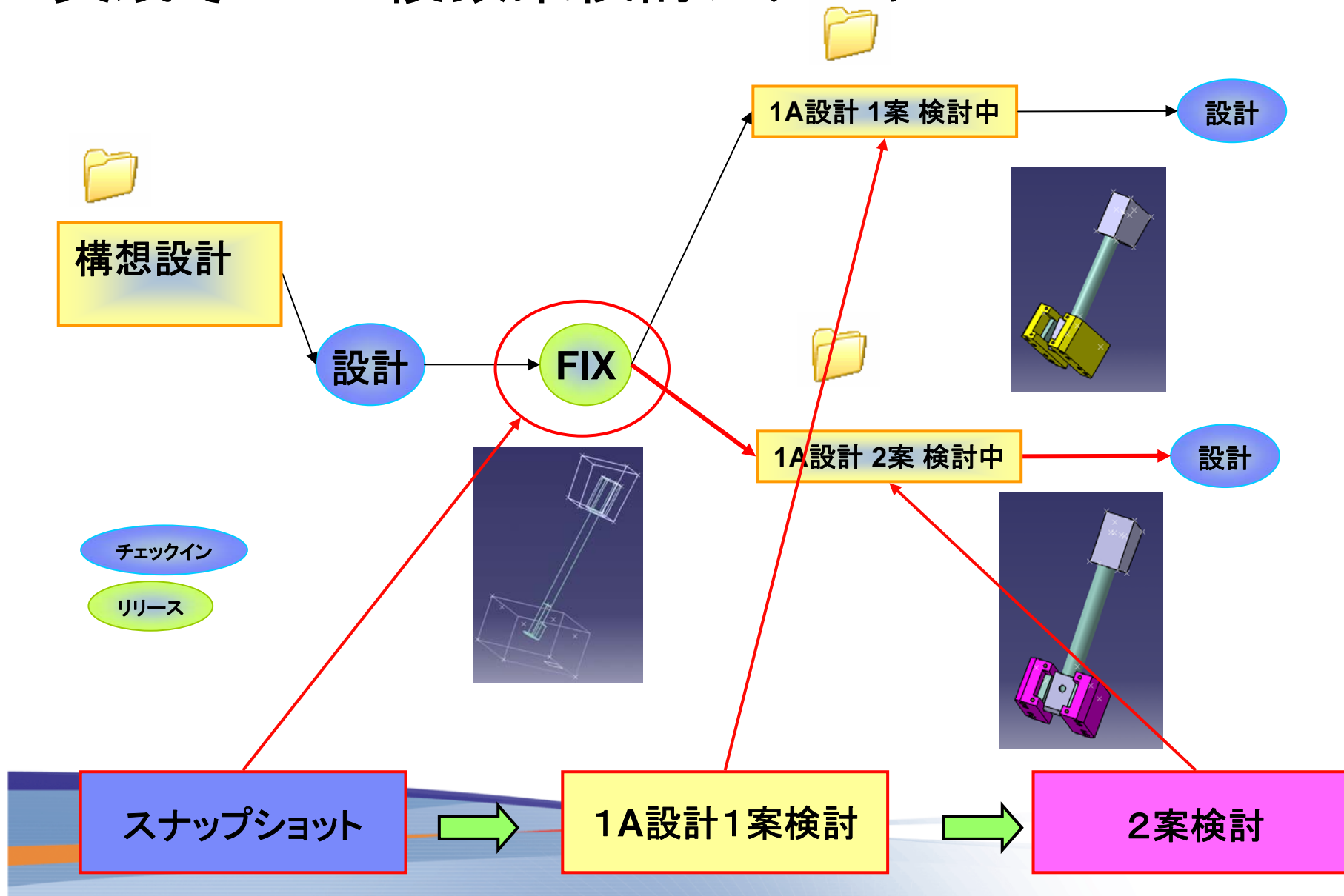
単独検討



複数案検討



実践その2. 複数案検討シナリオ



販売・サポート体制

SDE for AUTOのご提供体制

お客様

「SDE for AUTO」ソリューション

CATIA ビジネスパートナー

日本アイ・ビー・エム株式会社

ライセンス

DB/マニュアル

サポート

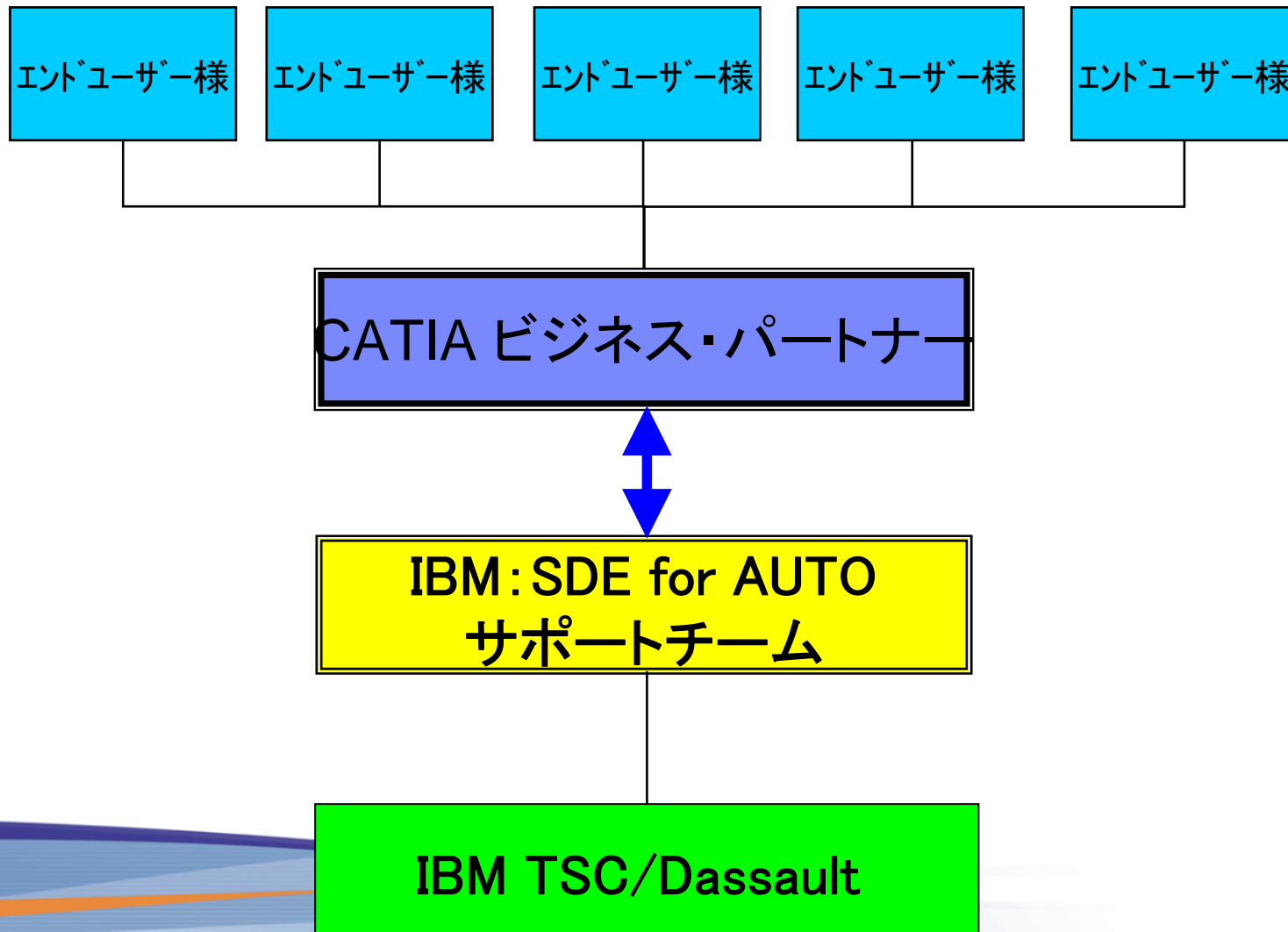
導入・教育

~~要件定義~~

~~開発~~

お求めやすい価格でご提供

SDE for AUTOのサポート体制



ご清聴ありがとうございました。

当ソリューションの詳細・前提条件など
お問い合わせは、IBMの担当営業、もしくは、
CATIAビジネスパートナーあてに御願ひ致します。